

# OCI IAMへの移行: Oracle IDCSの利用者が知っておくべきこと



OracleはOracle Identity Cloud Service (IDCS) の機能を、OCI ネイティブのOracle Cloud Infrastructure Identity and Access Management (OCI IAM) サービスに統合しました。IDCSは独立したサービスとして提供されなくなりましたが、すべての特徴と機能は引き続きOCI IAMの一部として存在します。OCIのネイティブサービスとして、お客様はパフォーマンスとスケールの向上、よりグローバルな地域での即時利用、そして地域をまたぐ新しいディザスター・リカバリー機能を享受することができます。

## OCI IAM とは?

OCI IAMは、Oracle Cloudのアクセス制御プレーンです。OCIとOracle Cloud Applications のためのOCIネイティブな認証サービスとポリシーエンジンであり、ネットワーク、コンピュート、ストレージ、アナリティクスなどのOCIリソースへのアクセスを管理するために使われています。

## IDCSとOCI IAMで何が変わったのか?

オラクルは最近、IAMの機能と性能をより広範に提供するOCI IAMサービスの新機能を利用できるようにしました。このアップグレードされたサービス・リリースの一部として、既存のOracle Identity Cloud Service (IDCS) のすべての特徴と機能がOCI IAMに統合されました。IDCSは別個の独立したPaaSサービスとしては提供されなくなりましたが、そのすべての機能と性能はアップデートされたOCI IAMサービスの中で機能し続けます。

OCI IAMは、以下の主要機能を提供します:

- OCI IAMは、Oracle Cloudの重要なアクセス制御プレーンとして機能し続けます。
- Oracle Cloud Applications (SaaS)は、ネイティブIAMサービスとしてOCI IAMを標準的に利用することが期待されています。

- OCI IAMは、複雑なハイブリッドIT環境における企業のアイデンティティおよびアクセス管理（IAM）の幅広いユースケースをサポートします。
- OCI IAMは、カスタムアプリケーションやコンシューマーアプリケーション向けに、開発者が使いやすいIAMエンジンを提供します。.

新サービスは、これらの主要なIAM機能において管理とユーザー体験を統一することで、管理の簡素化、所有コストの削減、価値実現までの時間の短縮を支援します。このサービスは、クラウドとオンプレミスの両方に対応し、さまざまなIAMに対応できる柔軟性を備えています。

クラウドとオンプレミスの両方に対応し、従業員、パートナー、コンシューマーの各用途におけるさまざまなIAMユースケースに対応する柔軟性を備えています。OCIのネイティブサービスとして、お客様はOCI IAMの多様な機能セットを、様々な地域のユースケースで利用することができます。この新サービスは、高いパフォーマンスと信頼性、安定性を備えたOCIインフラストラクチャで提供されます。

すべての OCI テナントが、アップグレードされた OCI IAM Identity Domains に移行されます。以前から存在していたIDCSインスタンス（ストライプ）は、Identity DomainsとしてOCIコンソールで利用できるようになります。IDCSインスタンスはOCIテナントに移行されるため、ほとんどのOCI利用者は、自動フェデレートされているIDCSインスタンスがOracleIdentityCloudServiceというルート・コンパートメントのIdentity Domainsになったことを確認できます。

以前はIDCSインスタンスとして存在していたドメインのアプリケーション、ユーザー、グループ、またはOCIテナントのローカルユーザーには、必要な変更はありません。

更新された OCI IAM サービスでは、Identity Domainsが導入されます。

- Identity Domainsは、次世代のIDCSインスタンス（ストライプ）です。既存の各IDCSインスタンスは、Identity Domainsに変換されます。
- 各OCI IAM Identity Domains は、別個のアイデンティティおよびアクセス管理ソリューションとして定義されます。
- 各Identity Domainsは、異なるユーザー・セットを保持しますが、特定のユースケースでは、ユーザーが複数のドメインに存在することが必要になる場合があります。
- Identity Domainsはそれぞれ独自の設定、構成、およびセキュリティ・ポリシーを持ち、最適なセキュリティを確保します。
- OCI IAM は、従業員、パートナー、コンシューマー、ほぼすべての IAM ユースケースをカバーする柔軟性を備えた Identity-as-a-Service (IDaaS) ソリューションです。

## 既存のIDCS (Identity Cloud Service) インスタンスにどのような影響があるのか？

Oracle Identity Cloud Service (IDCS) のお客様は、IDCS が提供するエンタープライズレベルの IAM 機能をよく知って頂く必要があります。今回の移行の一環として、既存のIDCSの特徴や機能が変更されることはありません。IDCSは、Oracle Cloud Infrastructure Identity and Access Management (OCI IAM) の不可欠なコンポーネントとなります。

OCIのネイティブサービスとして、OCI IAMは一貫した高いパフォーマンス、エンタープライズ規模のスケーラビリティ、Oracleグローバル・クラウド全地域での可用性、および広範なコンプライアンス遵守とセキュリティ認証を提供するインフラを利用することになります。

OCI IAMサービスは、多数のサードパーティアプリケーションへのアクセスを管理するストンドアロンIDaaS (Identity-as-a-Service) ソリューションの提供など、現在のIDCSのすべてのユースケースに引き続き対応します。OCI IAMに移行するIDCSのお客様は、他のOCIサービスを利用する必要はなく、これまでIDCSが提供していたサービスを引き続き利用することができます。

上述の通り、既存のIDCSインスタンスは、Identity DomainsとしてOCIコンソール上で利用できるようになります。

## IDCSをご利用のお客様へ、OCI IAMの新機能のご紹介

OCI IAMへの移行とIdentity Domainsの導入により、OCI IAMサービスにIDCSの機能がネイティブで追加されます。以下は、その内容です。

- **管理エクスペリエンスの向上** : ID管理は、OCI管理コンソールの「Identity & Security > Domains」というナビゲーションメニューから利用できるようになります。管理者は、ユーザー、グループ、アプリケーション、セキュリティ設定、およびその他の設定を管理するため、IDCSで使用されているのと同じ一連の機能を使用できます。
- **既存のユーザー、ポリシー、設定、アクセスへの影響はありません** : 既存のセキュリティコントロールとポリシーは、引き続き期待通りに機能します。機能が削除されることも、ポリシーの設定が変更されることもありません。セキュリティ設定やユーザー エクスペリエンスに影響を与えることはありません。
- **ディザスター リカバリー** : ほとんどの地域で、OCI IAM はOCI リージョン全体が使用不能になった場合のために Identity Domains のデータを保護する、リージョンをまたいだ災害復旧機能(Disaster Recovery)を備えています。これは、既存のアプリケーションの変更や更新を必要としません。

## アップグレード後のガイダンス

OCI IAMへの移行とIdentity Domainsの導入により、OCI IAMサービスにIDCSの機能がネイティブで追加されます。以下は、その内容です。

- **管理者アクセス**：IDCSインスタンスはIdentity Domainsを通じてOCIの一部となったため、OCI AdministratorsグループのメンバーはOCI IAM Identity Domainsを管理するための完全なアクセス権を持つことになります。お客様は、このグループの使用が自社のセキュリティ・ポリシーと一致していることを確認する必要があります。
- 各OCIテナントには、デフォルトでテナントAdministratorsグループのメンバーであるAdministratorアカウントが含まれます。Administrators グループは、テナント全体へのフルアクセスを許可します。したがって、Administratorアカウントを日常的な管理に使用しないことがベストプラクティスであり、テナントのAdministratorsグループは緊急のシナリオのために確保されるべきです
- 初期設定後にそれに用いたアカウントの使用をやめ、代わりにそのアカウントに複雑なパスワードを設定し、物理的な金庫のような安全な場所に認証情報を安全に保管するのが良い方法です。

## 詳細な情報はどこで入手できますか？

詳細については、OCI IAM 製品ドキュメントをご覧になるか、Oracle Identity and Access Management Web ページを参照してください。

## Oracle Digital

Oracle Digitalはオラクルの製品やクラウドサービスのご購入・ご導入に関するご相談窓口です。お問い合わせ後はお客様ごとに担当営業が付き、オラクル製品/サービスの導入をご支援しますフリーダイヤル 0120-155-096

受付時間 月～金 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (祝日および年末年始休業日を除きます)

Webフォーム、チャットでのお問い合わせは [oracle.com/jp/contact-us](http://oracle.com/jp/contact-us)

 [blogs.oracle.com/oracle4engineer/](http://blogs.oracle.com/oracle4engineer/)

 [facebook.com/OracleJP/](http://facebook.com/OracleJP/)

 [twitter.com/Oracle\\_Japan](http://twitter.com/Oracle_Japan)

Copyright © 2021, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. This document is provided for information purposes only, and the contents hereof are subject to change without notice. This document is not warranted to be error-free, nor subject to any other warranties or conditions, whether expressed orally or implied in law, including implied warranties and conditions of merchantability or fitness for a particular purpose. We specifically disclaim any liability with respect to this document, and no contractual obligations are formed either directly or indirectly by this document. This document may not be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, for any purpose, without our prior written permission.

This device has not been authorized as required by the rules of the Federal Communications Commission. This device is not, and may not be, offered for sale or lease, or sold or leased, until authorization is obtained.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark of The Open Group. 0120

Disclaimer: If you are unsure whether your data sheet needs a disclaimer, read the revenue recognition policy. If you have further questions about your content and the disclaimer requirements, e-mail [REVREC\\_US@oracle.com](mailto:REVREC_US@oracle.com).